
巻 頭 言

副学長（評価・IR担当）

評価・IRセンター長 長 縄 明 大

日頃より、評価・IRセンターの活動にご理解とご協力を頂きまして有難うございます。お陰様で、ここに令和2年度の秋田大学評価・IRセンター「活動報告」を発行することができました。評価・IRセンター長として、厚く御礼申し上げます。

本センターにおける評価業務の主な内容は、法人評価における前年度の業務の実績評価（年度評価）や次年度の年度計画に加え、令和2年度は第3期中期目標期間における4年目終了時評価の取りまとめ、業務の実績報告や教育研究に関するヒアリングの準備なども行いました。さらに、今年度は平成25年度にも受審しました機関別認証評価の取りまとめ、現地調査などの準備も行いました。各評価を受審するにあたり、全学的にご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。各評価の正式な結果につきましては、届きしだい大学のホームページに掲載する予定ですので、そちらをご一読頂ければ幸いです。

さて、第3期中期目標期間は令和3年度末をもって終了し、令和4年度から第4期中期目標期間へと移行しますが、すでに文部科学省より第4期中期目標期間における「国立大学法人中期目標（大綱）」の素案が届いております。第4期では、地球規模の課題や少子高齢化、都市部への人口集中などの課題に対処すべく、グローバル化やデジタル・トランスフォーメーションとそれを基にした産業・社会構造の変革が必要であるとされており、本学でもこれらを踏まえた検討を始めているところです。

一方、本センターにおけるIR業務では、大学戦略室と連動して各種データを収集し、その分析などを行っております。教学IRでは学生のGPAを追跡しながら入学時の成績との関連や履修動向、教育課程の編成の分析などを行っており、研究IRでは今年度再構築しました大学情報データベースの各種データを活用するため、科研費を始めとする外部資金の獲得状況と論文数・被引用数などとの関係について分析を始めております。さらに、運営IRでは、教学・研究IRの分析結果と教員活動状況などのデータをもとに、大学の効率的な運営に繋げるための方策について検討しております。また、THE世界大学ランキングやQS世界大学ランキングなど、各種ランキングの解析なども進めております。

評価・IRセンターがスタートして4年が過ぎようとしており、昨年度まで評価が主たる業務となっておりますが、昨年10月に専任教員を採用し、各種IR分析を加速させております。学内の諸データを活用してIRを機能させていくためには、皆様のご協力が必要不可欠でございます。これまで以上に本センターの運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。巻頭言に代えさせて頂きたいと思っております。